

海外物件紹介



Thai Parliament (Sappaya-Saphasathan) (タイ王国 国会議事堂)

小倉 一広
(Kazuhiro Ogura)

株式会社 日立ビルシステム
日本事業統括本部 技術本部
海外エンジニアリング部

建物外観

1. はじめに

タイ王国の新しい国会議事堂は、首都バンコクを南北に流れるチャオプラヤー川近くに、2021年5月に竣工しました。仏教の信仰が深く、その世界観をコンセプトとしたこの建物は、タイ語でSappaya-Saphasathan (サッパヤサパサタン) と呼ばれ、「良い行いをする場所」と和訳することができます。

延床面積は424,000㎡と国会議事堂としては世界最大規模を誇り、収容可能人数は5,000人、車両収容台数は2,000台に上ります。また5Gネットワークを活用したIoTシステムの導入や敷地内に多くの樹木を植えるなどGreen architectureをコンセプトとした設計になっています。

2. 建物概要

所在地：1111 Samsen Road, Thanon Nakhon,
Chai Si, Dusit, Bangkok 10300,
Thailand

建築主：タイ国会

設計監理：Mr. Theerapol Niyom

施工：Sino-Thai Engineering & Construction
Public Company Limited.

建築用途：国会議事堂

敷地面積：約196,800 ㎡

建築面積：約80,000 ㎡

延床面積：約424,000 ㎡

構造：RC造

階床数：地下2階、地上11階

建屋高、軒高：134.56m

竣工日：2021年5月

3. 昇降機設備

昇降機設備はエレベーター 86台、エスカレーター 34台の計120台が設置されています。建物は、中央棟、南棟、北棟に分けられており、それぞれに昇降機が設置されています。また、敷地内の道路を横断するための歩道橋に屋外用エスカレーターが設置されています。

乗用エレベーターのかご内仕上げは、シンプルなデザインとしつつも、建物外壁と同じく木材が使用されています。また、セキュリティにも配慮し、かご内にはカードリーダーが設置されています。

なお、エレベーターには回生システムを、エスカレーターには無人時に運転を停止する自動運転システム(運転方向表示用インジケーター付き)を採用することにより省エネルギー化を図っています。



CB-PL-03/1、2号機 8階エントランス



N-PL-05/1~4号機 B1階エントランス

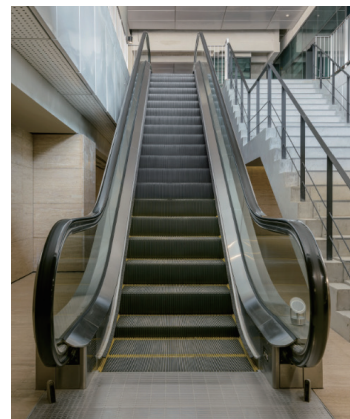
海外物件紹介



N-PL-10号機 かが内



CB-PL-03/1号機 操作盤



N-ES-07号機 エスカレーター

エレベーター仕様 (計 86 台)

棟	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
南棟	S-SL-01	人荷用	インバーター	乗合全自動方式	1600	21	60	1	3 (B1、MB1、1)	日立	
	S-SL-02	"	"	"	1150	15	60	1	4 (B1、MB1、1、2)		
	S-FL-03	"	"	"	1600	21	90	1	8 (B2、B1、MB1、1、2~5)		兼非常用
	S-PL-04/1~4、05/1~4	乗用	"	全自動群管理方式	1350	18	105	8	8 (B2、B1、MB1、1、2~5)		車いす仕様
	S-FL-06	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	90	1	8 (B2、B1、MB1、1、2~5)		兼非常用
	S-PL-07、08、09、10	乗用	"	"	1600	21	105	4	6 (B1、MB1、1、2~4)		車いす仕様
	S-PL-11	"	"	"	700	11	60	1	2 (1、2)		"
S-SL-12、13	荷物用	"	"	4000	-	30	2	2 (B2、B1)			
北棟	N-SL-01	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	60	1	3 (B1、MB1、1)		
	N-SL-02	"	"	"	1600	21	60	1	3 (B1、1、2)		
	N-SL-03	"	"	"	1000	15	60	1	2 (MB1、1)		車いす仕様
	N-FL-04	"	"	"	1600	21	90	1	9 (B2、B1、MB1、1、2~6)		兼非常用
	N-PL-05/1~4、05/1~4	乗用	"	全自動群管理方式	1350	18	105	8	8 (B2、B1、1、2~6)		
	N-FL-07	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	90	1	9 (B2、B1、MB1、1、2~6)		兼非常用
	N-PL-08、09、10	乗用	"	"	1600	21	105	3	7 (B2、B1、MB1、1、M1、2、3)		
N-PL-11	"	"	"	1600	21	105	1	6 (B2、B1、1、M1、2、3)	車いす仕様		
N-PL-12	"	"	"	1150	15	60	1	2 (MB1、1)			
中央棟	CA-SL-01	人荷用	"	乗合全自動方式	1150	15	60	1	3 (B1、1、2)		
	CA-SL-02	"	"	"	1600	21	90	1	5 (1、5~7、9)		
	CA-PL-03/1、2、04/1、2	乗用	"	群乗合全自動方式	1350	18	60	4	3 (B2、B1、1)		車いす仕様
	CA-SL-05	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	90	1	5 (1、5~7、9)		
	CA-SL-06	"	"	"	1150	15	60	1	3 (B1、1、2)		
	CA-SL-07、08	"	"	"	1600	21	60	2	2 (B2、B1)		
	CB-PL-01	乗用	"	"	1150	15	60	1	3 (B2、B1、1)		
	CB-PL-02/1~3	"	"	"	1350	18	150	3	11 (1、2~11)		
	CB-PL-03/1~4、04/1~4	"	"	全自動群管理方式	1350	18	150	8	12 (B2、1、2~11)		車いす仕様
	CB-FL-05	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	105	1	14 (B2、B1、MB1、1、2~11)		兼非常用
	CB-PL-06/1~3	乗用	"	全自動群管理方式	1350	18	150	3	13 (B1、MB1、1、2~11)		
	CB-PL-07/1~3	"	"	"	1350	18	150	3	13 (B1、MB1、1、2~11)		車いす仕様
	CB-PL-08/1~3	"	"	"	1350	18	150	3	3 (MB1、1、11)		"
CB-PL-09/1~4、10/1~4	"	"	"	1350	18	150	8	12 (B2、1、2~11)	"		
CB-PL-11/1~3	"	"	"	1350	18	150	3	11 (1、2~11)	"		
CB-FL-12	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	105	1	14 (B2、B1、MB1、1、2~11)	兼非常用		
CC-SL-01	"	"	"	1150	15	60	1	2 (MB1、1)			
CC-SL-02	"	"	"	1150	15	60	1	3 (8~10)			
放送棟	TS-PL-01、02	乗用	"	群乗合全自動方式	1350	18	90	2	3 (1~3)		
	TS-SL-03	人荷用	"	乗合全自動方式	1600	21	60	1	3 (1~3)		車いす仕様

エスカレーター仕様 (計 34 台)

棟	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	階高 (揚程) (mm)	勾配 (度)	台数 (台)	サービス階	メーカー	備考
南棟	S-ES01~02	S1000	透明強化ガラス	30	5500	30	2	B2~B1	日立	自動運転仕様
	S-ES-03/1、2	"	"	30	4000	30	2	B1~MB1		"
	S-ES-04/1、2	"	"	30	4000	30	2	MB1~1		"
	S-ES-05、06	"	"	30	7000	30	2	1~2		"
北棟	N-ES-01、02	"	"	30	5500	30	2	B2~B1		"
	N-ES-03/1、2	"	"	30	4000	30	2	B1~MB1		"
	N-ES-04/1、2	"	"	30	4000	30	2	MB1~1		"
	N-ES-05、06	"	"	30	7000	30	2	1~2		"
N-ES-07	"	"	30	4000	30	1	MB1~1	自動運転仕様 屋外用		
中央棟	CA-ES-01~04	"	"	30	5500	30	4	B2~B1		自動運転仕様
	CA-ES-05~08	"	"	30	8000	30	4	B1~1		"
	CB-ES01~08	"	"	30	5000	30	8	2~3、3~4		"
歩道橋	LA-ES-01	"	"	30	4700	30	1	MB1~1		自動運転仕様 屋外用